

子どもの健やかな成長を願って

鈴木 かつ江

光陰矢の如しと申しますが、月日の流れは本当に早いものです。

九年前の春四月、桜の花咲く中を大きなランドセルを背に、義務教育のスタートを切りました。

学校迄の長い道のり、足が痛くはないか、疲れはしないかと帰って来る子供の顔を見る迄安じ続けたのはこの頃でした。学校生活にも慣れ三、四年生になると、人間的な横のつながりも広がり、多くの友達にも恵まれました。

しかし、人間は機械ではありません。一人一人の持つ個性が互いに成長し、又、反抗期という時期も加わってか、人間関係の難しさを、子供ながらに知らされた時期もありました。

大人の世界においても、人が生きてゆく上で、人間関係が一番難しいように、子供の世界でも同じようでした。

人間社会の仕組や、対人関係について、共に一喜一憂しながら話し合ったのもこの時期でした。

新聞の人生相談の欄を共に読んでみました。

親子共々貴重な体験であったと思います。

やがて、四校からの集団である中学生生活が始まりました。中学生という社会的な不安もよそに、よき先輩、よい友達、更には親以上の愛情で、子供達に接して下さる諸先生方に囲まれ、楽しい(一生の間で一番印象に残る時期ではないかと思えます) 中学校生活を送っている子供の姿に喜びを感じて居ります。

これからの長い人生、様々な問題に出合う事とは思いますが、それらの一つ一つを貴重な体験として生かし、自分自身の力で乗り越え一つの問題に出合った時、首まで「ドップリ」とつかえる事なく、少し離れた地点で考え、判断するという精神的な余裕も必要ではないかと思えます。今までにに出合った多くの友達、そしてご指導下さった諸先生方へのご恩を忘れることなく、一歩一歩、歩いて下さい。心身共に健康である事を願っています。

青少年補導員が語る非行防止への道

| | |
|-----------------------------|---|
| ○ 町内の青少年非行の傾向は | 暴走・密室型不健全交友・外泊・いじめ・カンパ 不健全異性交友(特に女子に目立つ)、シンナー、喫煙。 |
| ○ 補導員の歩く目的はどんなことですか | 溜り場等の確認チェック、健全な環境の保持、青少年の健康な生活への教導。 |
| ○ 有害なシンナー等が青少年と結びつく動機は | 現実逃避、誘われて、グループの仲間として、密室交友、親子不和、学校ざらい、安息の場を失って 等。 |
| ○ 青少年をかかえる家庭ではどう対処したらいいか | 明るい家庭環境づくり、自然で継続性のある親子の対話交友関係の観察、親のしつけへの自信回復、長所発見に努める。親の変容。 |
| ○ 社会一般の大人が取るべき態度は | 青少年は未来を託す地域の宝。わが子も含めて一声を。通報は善導への道、積極的に。子どもは大人の鏡です。 |
| ○ 学校を卒業して、社会に働く青少年の非行が目立つのは | 無目的、短絡的な高校進学(中退につながる) 楽をして金と暇とを要求する心理 金がなくてもなんとかなるさ(後輩へのカンパ、恐かつ、その他。) |

家庭での非行防止

ポイント

- ① 子供を放任しない
子供を育てる責任の自覚を
- ② 親子の対話を忘れないように
子供への理解を
- ③ 子供に善悪のけじめをつけさせる事を忘れないように
生活の基本マナーを
- ④ 一つ叱ったら三つほめる心がけを忘れないように
いつもはげましと暖かさを
- ⑤ いかかわしい雑誌等は、家庭に持ち込まないように
若いエネルギーを正しい方向に

青少年の豊かな心を

育てるには

学校・家庭・地域が
一体となつて……

家庭内暴力や校内暴力、果ては一般の人にも暴力を振るう……。中学生の暴力行為が社会的に大きな問題となっています。子供をこうした暴力行為に走らせないためにも、学校、家庭、地域社会が一体となって健全育成に努めるとともに、積極的な地域活動への参加を通して豊かな心を育てるようにしたいものです。